

GREEN × EXPO 2027

開催期間：2027年3月19日（金）～9月26日（日）
開催場所：神奈川県横浜市

GREEN × EXPO協会



1

GREEN × EXPO 2027の概要 開催意義、理念

開催期間：2027年3月19日(金)～9月26日(日)

開催場所：横浜市上瀬谷（旧上瀬谷通信施設）

- ✓ 大阪花の万博（1990年）以来の最上位クラスの国際園芸博覧会！
- ✓ 1都3県では、初の万博！
- ✓ 2年の間に同じ国で万博が開催されるのは史上初！

テーマ

幸せを創る明日の風景

Scenery of the Future for Happiness

公式ロゴマーク



コンセプト

緑は、しなやかに形を変えながら、
私たちの暮らしに様々な幸福を積み重ねている。
木の葉がもたらす安らぎや、爽やかな大気。
花びらが感じさせる美しさや、心地よさ。
いま世界は、緑と新たな関わりを育もうとしている。
2027年国際園芸博覧会で描かれるのは、
自然・社会・人が共にある、
これからの暮らしの風景。
きっとそこでは、
一人ひとりが幸せな明日を咲かせている。

略称ロゴマーク





公式マスコットキャラクター
「トUNKトUNK」

人と地球の自然との、新たな関係を育む コミュニケーター

プロフィール

はるか宇宙の彼方から、地球に憧れてやってきた好奇心いっぱいの精霊、それがトUNKトUNKです。植物をはじめとした、この宇宙に生まれた万物の気持ちに共鳴しているので、その想いを人間に伝えてくれます。地球がきれいだとうれしくなって花を咲かせて踊ったり、地球が汚れると悲しくなって元気がなくなったりします。自然破壊・環境汚染などさまざまな課題を抱えているこの星で、人間と自然をつなぐ決意をしたキャラクターです。

名前について

人といろんな命が共鳴して、つながっている状態を表しています。このマスコットを通して、人間が万物への想像力や調和の心を取りもどすことの大切さが広がってほしい、という想いを込めて名付けました。

公式アンバサダー、公式クリエイター、スペシャルサポーター

公式アンバサダー



芦田 愛菜



ゆず

公式クリエイター



蜷川 実花

GREEN×EXPO スペシャルサポーター

第1弾 2026年7月8日就任



QuizKnock



榊原 郁恵



三上 真史

第2弾 2026年8月25日就任



囲碁将棋



NMB48

GREEN×EXPO 2027は地球課題解決の体験・実践を通じた 私たちの意識・行動変容の場



本博覧会で着目するGREEN

自然が有する
回復力

自然資本と技術を活かした
社会課題の解決

これからの
農と食

植物・自然がもたらす
豊かな感性



地球環境・生態系と
共生する
ライフスタイル創造

産業活動

業界・企業の
イノベーション
新産業創生

グリーン社会実現に
向けた投資・支援
(CSR/CSV/ESG)

2

展示・コンテンツについて

花・緑出展

花と緑のプロフェッショナルが、庭園や花壇、生け花や盆栽、新品種・希少種など、多種多様な花・緑の作品を出展。

Village 出展 出展内定者：12件

カーボンニュートラルやネイチャーポジティブなど、新たなグリーン社会実現に向けた企業による大規模な出展。独創的な展示や体験コンテンツの展開していただく。

- | | |
|----------------|--------------|
| A. 東急グループ | G. 大和ハウスグループ |
| B. K Tグループ | H. 東邦レオ 株式会社 |
| C. NTT東日本 株式会社 | I. 竹中グループ |
| D. 株式会社 大林組 | J. 住友林業 株式会社 |
| E. 三菱グループ | K. 相鉄グループ |
| F. 鹿島建設 株式会社 | L. 清水建設 株式会社 |

- テーマ営業出店** 出展内定者：4 件
テーマに合わせた展示とともに飲食等の提供を実施いただく出店形態。
- | | |
|------------|---------------|
| M. JAグループ | O. 明治グループ |
| N. 株式会社 丸兆 | P. ヤマザキパングループ |



GREEN × EXPO 2027



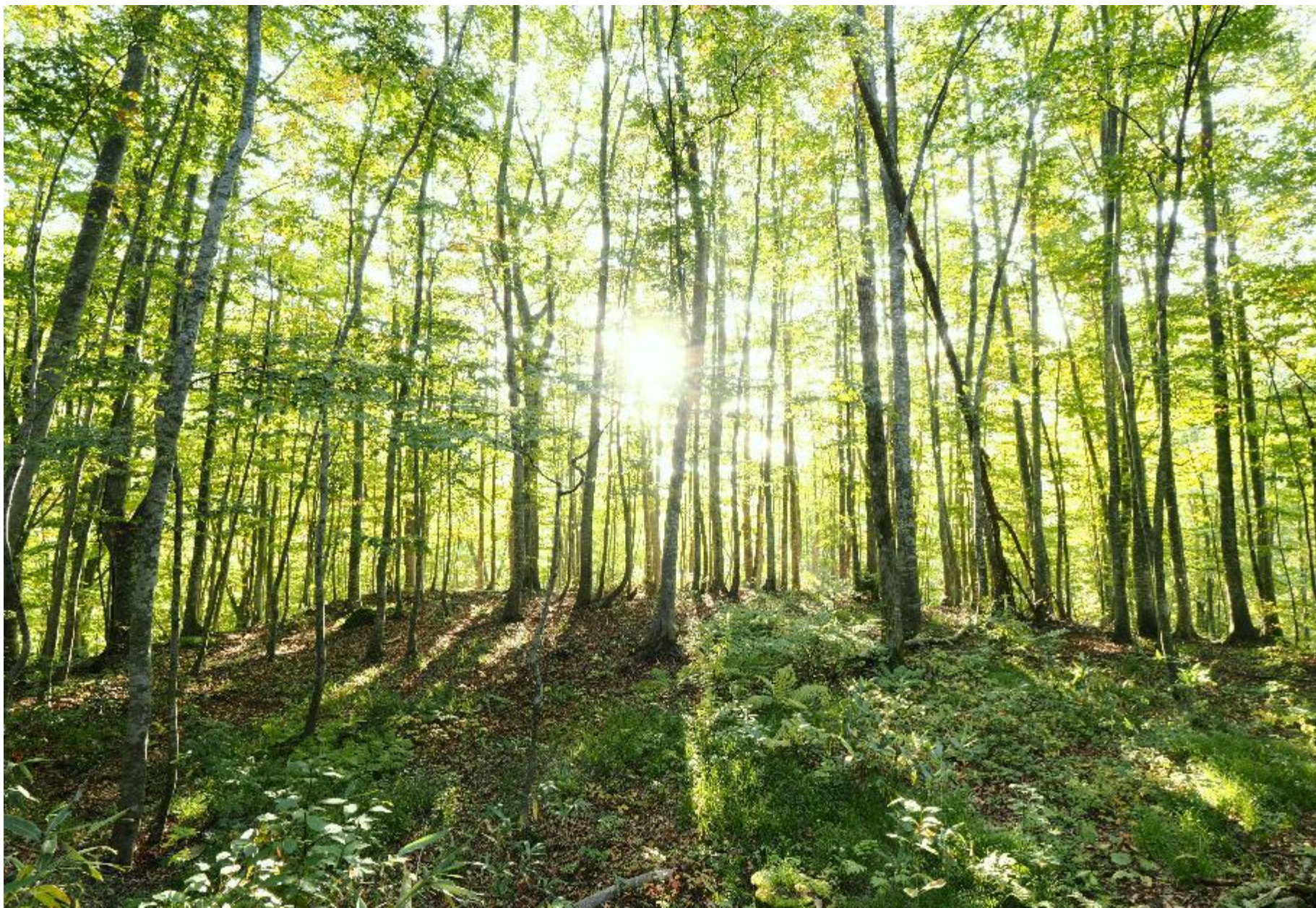
GREEN × EXPO 2027



テーマ館「ねっこ」

Theme Pavilion “NEKKO”





ZONE 1 地下の森





ZONE 3 気づきの森



ZONE 4 つながりの森









園芸文化館「いろはにわ」

Horticultural Pavilion "IROHA-GARDEN"

園芸文化館「いろはにわ」

～日本の園芸文化を知り・感じ・未来につなぐ～



3つのテーマを巡りながら
江戸から続く園芸文化の奥深さを体験









感じる 江戸の植木屋 花屋敷



屋内出展施設「はなめぐり」

Indoor Exhibition Facility "HANAMEGURI"



「null⁴」 (テトラル) プロジェクト

2026.6



- 大阪・関西万博からのレガシー継承、本博覧会の魅力や価値向上に資する事業として、大阪・関西万博において落合陽一氏が手掛けた「null²」のコンセプトを継承・発展させた新たな生命彫刻館「null⁴」(テトラル)を、落合陽一氏のチームと共に整備。
- 「null⁴」は、自然と人が共存する暮らしを表現する SATOYAMA Villageに位置し、これまで継承されてきた日本人の自然観を、現代のデジタル技術と融合した「計算機自然」として発信。



位置図



null⁴ イメージ ©Yoichi Ochiai



©mitsutoshi watanabe
メディアアーティスト
落合 陽一氏

国際出展（公式参加者）

欧州・中東・アフリカ（CIS諸国含む）

アゼルバイジャン★	コートジボワール★	トルクメニスタン
アンゴラ★	コモロ連合★	ブルンジ★
イエメン★	コンゴ（民）★	ベナン★
イタリア★	サントメプリンシペ★	ボツワナ★
ウガンダ	ジブチ★	マダガスカル★
英国★	シリア★	マラウイ★
エジプト★	ジンバブエ★	マリ★
エスワティニ★	スーダン★	南スーダン★
エチオピア★	スペイン★	モーリタニア★
ガーナ★	セーシェル★	モザンビーク★
カタール★	赤道ギニア	モロッコ★
カメルーン★	セルビア★	ヨルダン★
ガンビア★	ソマリア	リビア
ギニア★	タジキスタン	リベリア★
キルギス★	チャド★	ルクセンブルク★
クロアチア★	中央アフリカ★	レソト★
ケニア★	トーゴ★	レバノン

アジア・大洋州

インド★
インドネシア
ソロモン諸島
タイ★
大韓民国★
ナウル
ネパール
パラオ★
東ティモール
フィジー
フィリピン★
ブータン★
ベトナム
マレーシア★
ミクロネシア
モンゴル
ラオス

米州

エクアドル
ハイチ
コロンビア
パナマ★
米国★
ボリビア★

国際機関

ITTO（国際熱帯木材機関）★
IFAD（国際農業開発基金）
UNU（国連大学）
UN-Habitat（国連人間居住計画）
WFP（国連世界食糧計画）

★契約調印公表済国・機関
（2026年9月10日時点）



74か国・5 国際機関の参加が公表済（2026年9月10日更新）
9月10日時点で、参加表明国・国際機関数は目標の70程度を達成

- GREEN×EXPO2027の会場では、1000万株の花や緑が咲き誇り、来場者の皆様を「地球旅行」へお迎えします。
- 「花・緑出展」では、花と緑のプロフェッショナルが、ここでしか見られない庭園や花壇、生け花やフラワーアレンジメント、盆栽、新品種・希少種など、多種多様な花・緑の作品を出展。美と技術の競演として、会場内を彩ります。

※「屋外出展」と「屋内出展」あわせて、390の者が出展者として内定

<花・緑出展のエリア毎のテーマ（イメージ）>

沖縄美ら海水族館 （一般財団法人 沖縄美ら島財団）

奈良県



【建物空間を活用した発信拠点】

未来に向けて挑戦する市民・企業の皆様とともに、「ライフスタイル・ゾーン」、「フューチャー・ゾーン」の2つを通じて、横浜が目指す循環型の未来のまち・暮らしを発信します。

①建物空間を活用した発信拠点

敷地面積：約3,000㎡



建物空間を活用した発信拠点

国産木材を活かした自然と調和するデザインで、太陽光などの再生可能エネルギーを活用し、環境に優しい施設設計とします。

また、日陰の創出やミストの活用など、来場者の暑熱対策を徹底します。



②フィールドを活用した活動拠点

敷地面積：約10,000㎡

【フィールドを活用した発信拠点】

横浜産植物を活用した美しい花壇、公園愛護会など環境活動に取り組む皆様とのフィールドづくり、ツアーガイド、ワークショップなど、誰もが楽しめる活動の場を提供します。



フィールドを活用した活動拠点

市民とともに作る会場最大級10,000㎡の環境体験型フィールドで「地球とともに生きる」を具現化し、市内産植物を活用した圧倒的な華やかさと美しさによりおもてなしします。また、多くの市民、環境団体の皆様にご参加いただき、「サステナブルな花壇づくりプログラム」などを実施します。



神奈川県取組

神奈川県は、県出展エリアを「^{バイブラント}**Vibrant** ^{いのち}**INOCHI Forest かながわ館**」と命名し、
「“Vibrant INOCHI”一人ひとりの“いのちが輝く”」をメインテーマに掲げ、出展の準備を進めています。



【屋外庭園】

神奈川県の地形を模した庭園に、約1,600本の樹木と約8万株の花苗を植え替えながら展示するほか、「大屋根リング」の木材を花壇やデッキで再活用

【屋内展示】

サブテーマの「共生社会の実現」「持続可能な社会づくり」

「未病（ME-BYO）の改善」を発信

【催事】多様な主体による催事を毎日実施

ミュージカルの制作

環境問題を優しくユーモアたっぷりに描いた、希望のミュージカル。

タイトル:「**Vibrant INOCHI**（バイブラント・いのち）」

主題歌:「星の子」



制作陣



総合演出

一色隆司



舞台版脚本
/映像版原案

横内謙介



映像版脚本

小林雄次

キャスト陣



映像版出演者
/CO2役

増子 敦貴



映像版出演者
/CO2役

砂川 脩弥

大阪・関西万博の大屋根リングの木材の再利用

横浜市

ベンチとして活用

- 大阪・関西万博で使用された大屋根リングの木材をリユースし、ベンチとして会場内に広く設置し活用。
- 循環型都市の象徴的な取組として発信。



ベンチとしての活用例
(提供元：2025年日本
国際博覧会協会)

横浜市は2か所の拠点をつくる。



建物空間を活用した発信拠点



フィールドを活用した活動拠点

神奈川県

花壇やウッドデッキとして活用

- 資源の循環利用を推進するため、出展エリア内の屋外庭園で大屋根リングの木材を再利用。
- 来場者が実際に利用し、身近に感じられるよう、花壇やウッドデッキとして活用。



神奈川県出展エリア

Urban GX Village

KAJIMA TREE

- 移設する木材量は、全体で約2万7000m³ある大屋根リングの木材の約3%に相当。
- 大屋根リングの木材を再利用することで、資源循環や脱炭素を体現するとともに、万博の記憶や理念を次世代へ継承。



鹿島建設株式会社 KAJIMA TREE

Urban GX Village

シミズ 森のまち

- 大屋根リングの構造部材として使用された木材を施設に活用。
- 資材の100%循環利用と、建設段階のCO2排出ゼロを目指す。



清水建設 シミズ 森のまち

仮設建築物や植栽に大阪・関西万博で使われた資材・樹木等を引継ぎ活用

メインゲート 屋内出展施設 Village

閉会後のさらなるリユース・転用を視野に入れ、
建築そのものを社会資産として循環させる。

GREEN × EXPO2027 メインゲート



アイランドパビリオンの
外装に使用した木材を
再利用。廃棄物を抑制す
るとともに、大阪の貴重
なレガシーを継承。



GREEN × EXPO2027 屋内出展施設



大阪・関西万博の
ウーマンズ パビリ
オンで使った建
築資材を園芸博の
コンセプトに合わ
せて再構築し、新
たな価値を創造。

GREEN × EXPO2027
Urban GX Village 東邦レオ



大阪・関西万博の
パナソニックグ
ループパビリオン
「ノモの国」で使
われた鉄製ファ
サードモチーフを
再利用。グリーン
をまとめた立体
的な空間として展
示、体験施設に
展開。

樹木輸送プロジェクト 緑配便®

大阪・関西万博会場内の樹木を会場
内へ輸送・移植。鉄道輸送により、
CO₂排出量削減・環境負荷低減しなが
ら、樹木を継承し、資源の循環利用
と両立。

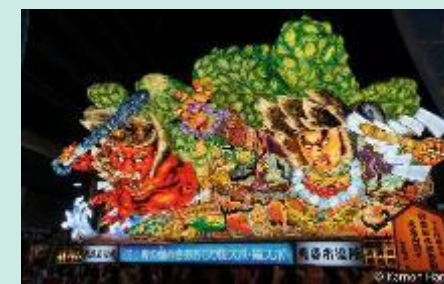


ナショナルデー スペシャルデー

様々な国、国際機関による
国際色、多様性あふれるイベント

催事

全国の祭り、スポーツや
エンタメと連携した
イベントを企画中。



ミュージカル

神奈川県ミュージカル
「Vibrant INOCHI」
環境問題を優しくユーモ
アたっぷりに描く希望の
ミュージカル



「環共」プログラム

地球規模の課題解決に向け、来場者とともに一
人ひとりの行動変容を目指す参加型プログラム
レッツグリーンアクション（実践者と楽しむ活動体験）
レッツグリーンクラス（専門家と考える公開講座）

機運釀成

オフィシャルストアならびに公式グッズの展開

2026.9



全国的一般層にターゲットを置いた機運醸成の取組として、オフィシャルストアの展開を拡大。
地方自治体、スポーツ、マスメディアなど幅広いジャンルのキャラクターとのコラボ企画や新商品を続々展開。

オフィシャルストア

首都圏・関西圏などに常設12店舗ほか期間限定ポップアップストア、
オンラインストア営業中
9月18日から全国のカインズ157店舗でオフィシャルポップアップストアが
順次オープン（町田多摩境店も対象）。



オフィシャルオンラインストア
<https://expo2027shop.jp/>



地元名産品とのコラボ

コラボ商品・新商品



「ひこにゃん」コラボグッズ
(4/12～)



「そらじろー」コラボグッズ
(5/13～)



日本ラグビーフットボール協会
公式マスコット「レンジー」
コラボグッズ
(6/27)

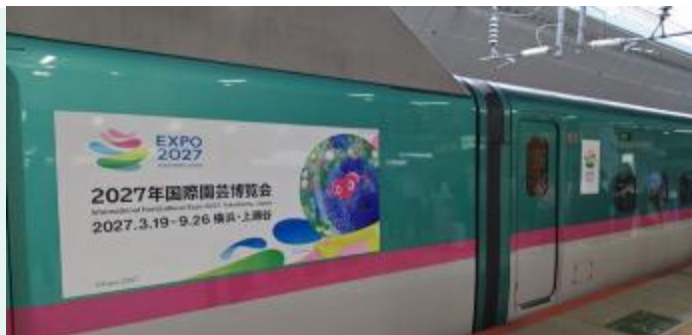


「サンリオ」コラボ新商品
(7/10～)



「ムーミン」コラボ
(9/1～)

東北新幹線・北陸新幹線ラッピング（26.9～）



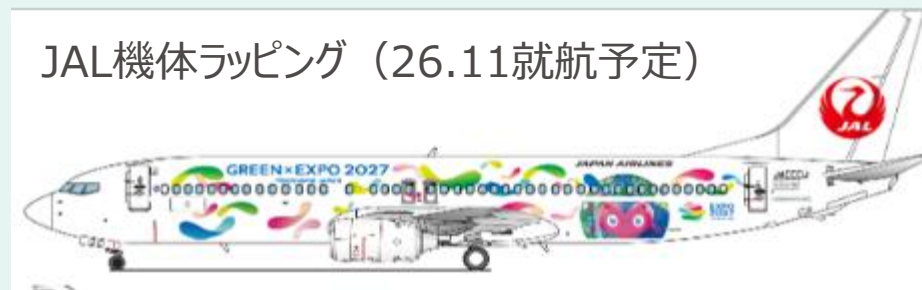
東急線ラッピングトレイン（26.7～）
（東横・東急新横浜線、田園都市線
・目黒線・東急新横浜線）



相鉄線ラッピングトレイン
（26.3～）



JAL機体ラッピング（26.11就航予定）



空港サイネージでの展開強化（26.9～）



羽田空港
バゲージクレームサイネージ



成田空港
サイネージ

タクシーメディア
「TOKYOPRIME」



PR連携 ①スポーツとの連携強化 / ②出展者等によるPR

○スポーツとの連携強化

□【ラグビー】日本代表戦

7月18日(土)フランス代表(国立競技場)

8月8日(土)オーストラリア代表(花園ラグビー場)

9月5日(土)カナダ代表(新潟・デンカビッグスワンスタジアム)



(2026年7月18日(土) MUFGスタジアム(国立競技場))

□【サッカー】横浜FC国立Day

横浜FC開幕戦でコラボグッズ発売開始



(2026年8月16日(日) MUFGスタジアム(国立競技場))

□【バスケット】横浜ビー・コルセアーズ

包括連携協定締結セレモニー



(2026年9月7日(月)横浜BUNTAI)

○出展者やパートナーとの連携によるPR



横浜スタジアムでの横断幕掲出：清水建設



自社商談会イベントでのPR：サカタのタネ



TVCMによるPR：ボートレース(特別協力パートナー)

- ✓ 1,000万株の花と緑
- ✓ 74の国と、5の国際機関
- ✓ 全都道府県、全政令指定都市
- ✓ 12のVillage出展、4のテーマ営業出店、390の花・緑出展
- ✓ 数々の催事や市民参加プログラム
- ✓ 12,000人のボランティア
- ✓ 1,000万人のご来場者様
- ✓ 地域の住民の皆様のご理解、ご協力

みんなで創る。
それが
GREEN×EXPO
2027です。



GREEN

×

EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

2027.3.19 [FRI] ▶▶▶ 9.26 [SUN]

横浜